

# 新規作物(豆類・ソバ・牧草)の試験栽培

## 状況

### 島根県 隠岐の島町 西郷地区

地区概要: 農地面積852.04ha(うち耕作放棄地26.64ha)  
 荒廃の理由: 農業者の高齢化、後継者不在、排水性等土壌の悪条件  
 荒廃の程度: 雑草繁茂、樹木侵入。農業機械・重機による作業が必要  
 全体調査の区分: 黄



再生作業前

## 取組概要

対象面積: 465a(水田)  
 実施期間: 再生作業:平成21年12月～平成22年3月  
 栽培実証:平成22年4月1日～平成23年3月31日  
 取組のきっかけ: 「隠岐牛」産地拡大プロジェクトにより、肥育牛は増頭傾向にあるが、粗飼料の供給が不足している。また、「隠岐そば」のブランド化を目指したソバや、地元野菜の自給率向上に取り組んでいる。それらの一環として耕作放棄地再生による農地拡大を図った。町の農業振興政策の一環として再生することにより、集落活性化、農地保全、農業振興等が期待できる。  
 調整経緯: 耕作放棄地の所有者に対し、再生に関する意向調査を行い、同意の得られた方から、協議会事務局及び取組主体とで具体的な交渉を行った。  
 取組主体: (財)隠岐の島町農業公社・(有)村上建設(畜産業)  
 取組作物: 豆類・ソバ(農業公社)、牧草(チモシー、イタリアン、ライ麦)(村上建設)  
 作業内容: 雑草・樹木の刈払、抜根、障害物除去、産廃処理、整地、用排水整備、進入路整備、土壌改良、定植  
 実証状況: 牧草は収穫済み。豆類、ソバは栽培中。栽培履歴を管理し、その作物の適正さを検証する。  
 出荷先: 農業公社の豆類、ソバは未定。村上建設の牧草は自給飼料。

## 今後の予定

農業公社再生分は担い手へ斡旋。村上建設再生分は引き続き採草地として営農。

## 再生状況



再生作業中(草刈)



豆類栽培中



牧草収穫後



実証ほの看板



再生作業後



ソバ栽培中



ソバ栽培中

現状

# 新規作物(牧草)の試験栽培

## 状況

### 島根県 隠岐の島町 五箇地区

地区概要: 農地面積315.57ha(うち耕作放棄地2.71ha)  
 荒廃の理由: 農業者の高齢化、後継者不在、排水性等土壌の悪条件  
 荒廃の程度: 雑草繁茂、樹木侵入。農業機械・重機による作業が必要  
 全体調査の区分: 黄



再生作業前

## 取組概要

対象面積: 32a(水田)  
 実施期間: 再生作業:平成21年11月6日～平成22年3月31日  
 栽培実証:平成22年4月1日～平成23年3月31日  
 取組のきっかけ: 「隠岐牛」産地拡大プロジェクトにより、肥育牛は増頭傾向にあるが、粗飼料の供給が不足している。その一環として耕作放棄地再生による農地拡大を図った。農地の荒廃はその集落の衰退にも繋がるが、耕作放棄地を町の農業振興政策の一環として再生することにより、集落活性化、地域全体の農地保全、農業振興等に寄与すると考え、実証ほに取り組んだ。  
 調整経緯: 取組主体が耕作放棄地を見つけ、土地所有者(JA)に対して交渉を行い、実施に至る。  
 取組主体: (有)村上建設(畜産業)  
 取組作物: 牧草(チモシー、イタリアン)  
 作業内容: 雑草・樹木の刈払、抜根、障害物除去、産廃処理、整地、用排水整備、進入路整備、定植  
 実証状況: 牧草を栽培し、収穫した。栽培履歴を管理し、作物の適正さを検証する。  
 出荷先: 自給飼料。

## 今後の予定

引き続き、取組主体が自給飼料用の採草地として営農していく。

## 再生状況



再生作業中(伐採)



牧草収穫後



実証ほの看板



再生作業後



牧草収穫後



牧草収穫後

現状



# 新規作物(牧草)の試験栽培

## 状況

### 島根県 隠岐の島町 都万地区

地区概要: 農地面積267.11ha(うち耕作放棄地3.76ha)  
 荒廃の理由: 農業者の高齢化、後継者不在、排水性等土壌の悪条件  
 荒廃の程度: 雑草繁茂、樹木侵入。農業機械・重機による作業が必要  
 全体調査の区分: 黄



再生作業前

## 取組概要

対象面積: 71a(水田)  
 実施期間: 再生作業:平成22年1月18日～平成22年3月31日  
 栽培実証:平成22年4月1日～平成23年3月31日  
 取組のきっかけ: 「隠岐牛」産地拡大プロジェクトにより、肥育牛は増頭傾向にあるが、粗飼料の供給が不足している。その一環として耕作放棄地再生による農地拡大を図った。農地の荒廃はその集落の衰退にも繋がるが、耕作放棄地を町の農業振興政策の一環として再生することにより、集落活性化、地域全体の農地保全、農業振興等に寄与すると考え、実証ほに取り組んだ。  
 調整経緯: 耕作放棄地の所有者に対し、再生に関する意向調査を行い、同意の得られた方から、協議会事務局及び取組主体とで具体的な交渉を行った。  
 取組主体: (有)村上建設(畜産業)  
 取組作物: 牧草(チモシー、エン麦、イタリアン)  
 作業内容: 雑草・樹木の刈払、抜根、障害物除去、産廃処理、整地、用排水整備、進入路整備、定植  
 実証状況: 牧草を栽培し、収穫した。栽培履歴を管理し、作物の適正さを検証する。  
 出荷先: 自給飼料。

## 今後の予定

引き続き、取組主体が自給飼料用の採草地として営農していく。

## 再生状況



再生作業中(草刈)



牧草収穫後



実証ほの看板



再生作業後



牧草収穫後



牧草収穫後

現状